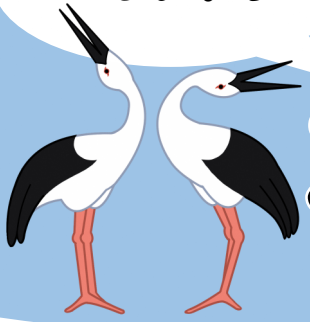


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第160号

「鱗(ウロコ)の主はだあれ？」

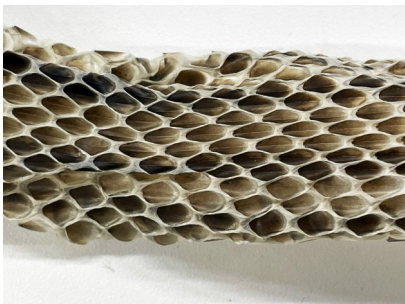
2025年1月20日

ある朝、飼育ケージ内のチェックをしていると、池の中に得体の知れないものを見つけました。拾ってみると、大きさは5センチほどの薄っぺらい切れ端、なにかのウロコのようなのです。

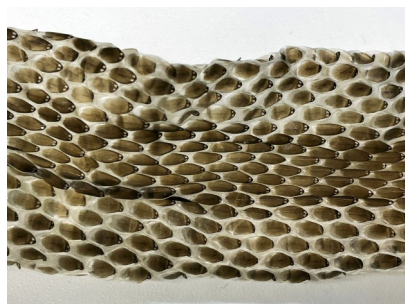


池で発見した、なにかのウロコ

コウノトリは肉食の鳥で、天空の里ではエサとしてアジやワカサギ、ドジョウなどの魚を与えていますが、飼育ケージ内に入ってきた野生のカエルや昆虫も日常的に食べています。拾ったものは魚のウロコとは形状が異なっていたので、最初は空か花が食べたトカゲかヘビの食べ残しかな？と思ったのですが、きんちゃん(アオダイショウ)やアポロ(シマヘビ)の抜け殻と見比べてみると、どうもそれらとも形状が違っていました。じゃあトカゲかしら…？と考えていたら、この色もしや…と思い当たるものが。



シマヘビのウロコ



アオダイショウのウロコ



ニホントカゲのウロコ

実はコウノトリにもありました！！ウロコが。



空(♂)の脚



花(♀)の脚



ニホンコウノトリの脚鱗(きゃくりん)

脚です！どうでしょうか。似ていませんか？ピンときたので、獣医師にも聞いてみたところ、「そうだと思うよ。」とのことでした♪どうやらコウノトリの脚のウロコ、脚鱗(きゃくりん)で間違いなさそうです。改めて脚に注目して観察してみると、空も花もところどころ古くなったウロコが剥がれ落ちている箇所が見られたので、どちらのものは分かりませんが自然にポロっと剥がれ落ちたもののようです。

ということで、ウロコの主は「コウノトリ」でした～！ひとまず謎が解けてスッキリしたのと同時に、思いがけず「は虫類から進化を遂げた鳥類の進化の歴史」に触れる機会となりました。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：ほっぴー